

平成 25 年度後学期授業アンケート結果の
公表に係る「自由記述欄」の記載（抽出）

大 学 院

経済・ビジネス研究科

1. 大学院の授業科目及び研究指導科目（演習、特別研究、特殊研究等）で興味深かった点、役に立った点、進路選択との関連性について書いて下さい。

- 経営情報セミナーを受講して、多くのF×に関する知識を得ることができた。また、株やF×の価格変動の真の激しさを知るとともに、おもしろさも理解できた来年、修論と就職に向けて全力で頑張りたいと思います。今回の授業は来年に役に立つと思われる。
- 大学院の授業科目及び研究指導科目で興味深かったのは経済発展論関連科目で、ベトナムの市場経済への移行と開発戦略。資本市場の形成と内外資源の動員。ベトナム移行経済と外国企業への技術移転。農業改革と農村開発。労働市場と農工間労働移転。東アジア分業とベトナム。東アジア分業とベトナムの工業化。ベトナムの移行・開発と日本。地域統合・グローバル化とベトナムの経済発展などを研究し興味深かった。
- 現在、修士論文作成のため、ビジネス会計演習で昆教授に指導して頂いているが、その際体調の悪い時や議論が白熱した時も夜遅くまで指導して頂き、感謝の言葉が見当りません。また、昆教授は会計演習にて、社会人で仕事がある私に修士論文の作成工程をアドバイスして頂き、その工程が羅針盤のようになり、現在までの修士論文作成に大変役立っている。
- 渡辺利夫の「開発経済学入門」を読んだきっかけに、「緑の革命」に大変興味を持つようになりました。経済政策を受け、BOPビジネス、Microfinanceなどの知識も知るようになりました。経済に関する視野も広めた。
- 人的資源管理研究、企業において人的資源管理に関する知識を勉強して、特に労務管理の部分に興味を持っている。経営戦略、先生はやさしく、学会も参加できる。経営管理セミナー、皆は毎週順番で発表するので、日本語と専門知識とも向上につながっている。
- 私は、将来金融産業の分野に特化して業務を行い、日本の金融産業の発展に貢献したいと考えている。そのために、今外為に関する実践的な知識や幅広い権利活用能力を身につけたいと考えている。
- 為替についていろいろなことが分かるようになった。以前、為替に関するネット情報を検索したが、複雑化して全く理解できなかった。現在では、講義を受けて理解できるようになった。将来、銀行での仕事をしなく、この科目は絶対役に立つと思う。
- 金川教授と昆誠一教授の指導で、中国企業会計不正の原因と現状を調査・分析し、それを防ぐ方法である内部統制のことをよく理解できるようになった。
- 経営情報システム論文演習2に関して、論文指導だけでなく、経済学および統計学を用いた応用にまでといった広範囲にわたる分野にまでご教授いただきました。
- エズラ・ヴォーゲル教授の「鄧小平と中国の変化」を読み、中国の改革開放の経緯を理解でき、大変ためになった。

2. 大学院の授業科目及び研究指導科目の改善すべき点、問題点を科目名と共に書いて下さい。また、効果が薄いと思われるので、改善して欲しい取り組みなどについて、建設的な意見を書いて下さい。

- 会計制度の重要性が増し、財務会計を学びたい学生が多いと思うので、大学院で専任教授を置いて財務会計を設けた方が学生の集客にもつながるのではと思う。
- 現実的な経営システムも含めた、実際の経営の流れを、ケーススタディーとして、ご教授していただくと、広く活用できる部分があるのではないかと思います。
- 授業の内容はちょっと少なかった。もっと勉強したい。

3. 教室設備、研究機器、授業環境などについて、お気づきの点があれば具体的に（号館、教室、座席等）に書いて下さい。

- 大学院の院生のために自習室のパソコンについて、ネット接続のPCが多くあることを望みます。何卒よろしく願いいたします。
- 貸し出し用のノートPCのウイルス対策をした方が良いと思う。

工学研究科

1. 大学院の授業科目及び研究指導科目（演習、特別研究、特殊研究等）で興味深かった点、役に立った点、進路選択との関連性について書いて下さい。

- 座学だけでなく実物（部品）を分解し、構造のしくみなど目で覚える授業は大変有意義であった。
- 科学の基本的なことを英論文で読むことにより、読解力と同時に基本的な知識を深めることができた。
- 学外での現場見学ならび説明は、講義内容の理解と興味を深めた。
- エネルギー・環境問題について自主的に調査、発表、議論することは、大変有意義であった。
- 実験を織り交ぜながらの授業は、知識を深めることができとても有意義であった。
- 研究内容と授業内容とが関連している科目では、幅広く専門性を深めることができた。
- 2年間の総括として、将来の進路選択に繋がる授業を受けることができ、有意義であった。
- 自主的に研究の筋道を立てることが、日常生活において役に立っている。

2. 大学院の授業科目及び研究指導科目の改善すべき点、問題点を科目名と共に書いて下さい。また、効果が薄いと思われるので、改善して欲しい取り組みなどについて、建設的な意見を書いて下さい。

- 学内での院生の発表会について、発表概要の配布など周知徹底してもらいたい。
- 学会発表に対する奨励金の年間回数および限度額の増大へ向けて改善してほしい。
- パソコンを使用する講義室の環境を整備してほしい。

3. 教室設備、研究機器、授業環境などについて、お気づきの点があれば具体的に（号館、教室、座席等）に書いて下さい。

- 研究室のエアコンの調整ができ、かつ24時間使用できるようにしてほしい。
- エアコンは、朝9時から入れて欲しい。
- 講義室のホワイトボード用のペンのインク切れが多い。
- 女子更衣室が欲しい。
- カードキーを配布してほしい。
- シャワールームを設置してほしい。

芸術研究科

1. 大学院の授業科目及び研究指導科目（演習、特別研究、特殊研究等）で興味深かった点、役に立った点、進路選択との関連性について書いて下さい。

- 造形表現超域演習で、柿右衛門窯、源右衛門窯、今右衛門窯を見せていただいた。先生の教え子ということで、窯元では親切に説明を受けることができた。様々な発見や気づきがあり、理論面の強化もできた。また、他の領域の学生と交流できる機会が多く、自身の領域の学生とは、また違った作風や考え方に触れられる点は、大きな刺激になったと思う。
- 集中講義で、現場で活躍している評論家の話を聞くことがとても役に立った。写真表現総合研究、担当の先生と定期的に会い、作品を見せて、アドバイスをいただくことは大変有意義であった。
- 科学技術、ファッションやデザインなど、いつも最先端の情報を紹介していただいた。また、関連して見せていただいた TED Talk も大変勉強になった。
- 研究論文の参考文献の著者を紹介してもらい、初めて実物作品を見せてもらえたことは、論文を書く上でモチベーションとなった。
- パソコンで描いたデジタル作品をキャンバスに直接プリントする方法など、自分の手法を発展させたやり方を道具の新たな使い方とともに学ぶことができ、結果、自分自信大きく変化をとげることができた。
- 自分で好きなテーマを決めてから、それについて現状や自分の考えなどをプレゼンテーションしたり、話し合ったりするような内容だったので、先生や他の受講生の意見を聞いて、有益な時間だった。
- 全ての授業において、自身の研究と関連づけながら受講することができたので、研究が深まった。
- 修士研究で身に付いた「説明力」が、志望職種である企画職の入社試験を受ける際にも役に立った。

2. 大学院の授業科目及び研究指導科目の改善すべき点、問題点を科目名と共に書いて下さい。また、効果が薄いと思われるので、改善して欲しい取り組みなどについて、建設的な意見を書いて下さい。

- 実技の集中講義（特に夏期休業中）の授業日数が少ない。そのため、本来必要な作業行程を省かねばならず、技法などの十分な理解が難しい。
- 修士課程ではじめて接する専門外の分野の課題についてはハードルが高い。他分野の授業見学など、気軽に交流を行えるしくみを作ることで、今のクリエイティブシーンで役立つ感覚とコミュニケーション能力を養うことができると思う。
- 専門領域以外の講義と必要な単位数が多く、主たる研究が進まない。
- 大学院生同士の交流やコミュニケーションの機会がもう少しある良いと思う。
- 芸術研究科の学生や卒業生の活躍は目覚ましいものがあるにも関わらず、学部生の多くがその事実を知らないという現状がある。一因として学部生、大学院生の縦のつながりが希薄になっていることが考えらる。大学内での刺激し合える環境の整備を充実させる為にも教員、学生一体となった取り組みが必要であると考えらる。

3. 教室設備、研究機器、授業環境などについて、お気づきの点があれば具体的に（号館、教室、座席等）に書いて下さい。

- 15号館で画材の刺激臭（テレピン他）に悩まされている。窓の開口部を大きくするか（現状では制限がかけられていて小さくしか開かない）、あるいは作業環境にふさわしい換気装置を備えて欲しい。
- 作品制作の空間を広くして欲しい（狭い空間で描いたものを広い展示会場へ持っていくと、全然違ったものに見えてしまう。広い展示会場を想定すると、不利になってしまう）。
- 授業の登録を、K's l i f eからできるようにして欲しい。
- 後期の授業の登録を、後期の授業を受けた後にして欲しい。

国際文化研究科

1. 大学院の授業科目及び研究指導科目（演習、特別研究、特殊研究等）で興味深かった点、役に立った点、進路選択との関連性について書いて下さい。

- 学校臨床について事例に基づいた検討を行うことにより、介入方法や支援の方向性といった直接関与を学べただけでなく、校内における連携の仕方や聴講生の先輩方の意見を聞くことができ、実践に活かせる学びが多い科目でした[臨床心理学特別演習]。
- 学会発表の準備や博士論文研究について様々な意見を頂き、毎回、刺激を受け、また、研究の視点については、修論生や卒論生へのアドバイス役になれるように思いました[臨床心理学特別研究 I]。
- 研究の方向性について様々なアドバイスを頂き、見通しを立てることができた[臨床心理学研究演習 I]。
- トライアルカウンセリングの発表を通じて、実践における経験知を含めた、現場で役に立つ知識を教えていただいた[臨床心理面接特論]。
- 精神科医からお話を聞くことができたのは有意義だった[精神医学特論]。
- 多くの作家の小説を読んで自らの知識を豊かにしたことは、今後の社会活動においても大事なことだと考えています[日本現代文学]。
- 論文に役だった[欧米文化研究]。

以下は科目名について言及されていない意見。

- グループエスビーにおける臨床の検討や、研究におけるゼミでの検討。
- 先生方から修士論文を書くために役立つ意見や、将来、社会人として人生に対しても役立つことを学んだ。
- 先生方や同じ院生仲間からも、様々な視点から検討して頂けて大変助かった。
- 先輩の修論のお手伝いをすることで、修論がどういうものか見えたような気がしたのはよかった。
- 将来、心理士として働いていくために有意義な授業だった。

2. 大学院の授業科目及び研究指導科目の改善すべき点、問題点を科目名と共に書いて下さい。また、効果が薄いと思われるので、改善して欲しい取り組みなどについて、建設的な意見を書いて下さい。

- カウンセリングの実習や授業がもっとほしい。ケースに入る前に多くの実習をしていた方がいいと思う。
- 授業で使う資料が紛失することがあったようなので、準備や管理をしっかりしてほしい[教育心理アセスメント実習]。

3. 教室設備、研究機器、授業環境などについて、お気づきの点があれば具体的に（号館、教室、座席等）に書いて下さい。

- 休日に建物全体が閉まるのはやめてほしい。国立大学ならば、勉強できる場所がある。10日以上連続で図書館にも院生室にも入れないなど考えられない。学生が学び、成果を上げることが、次の入学者の入学動機へとつながるのではないか。[自習用の場所の増設を望む、同趣旨の意見は他にも1件あり。]
- キャリア支援センターのように、研究室などの他の施設においても、携帯電話が無料Wifiに接続してインターネットが利用できるようになってほしい。
- 夏季の冷房稼働前の時期に、大人数でミーティングを行う際に、冷房がなくて体調を崩す人を見かける。空調の稼働について、もう少し柔軟にしてもらえると助かる。
- 院生自習室のパソコンやプリンターをさらに使えるようにお願いしたい。
- 院生自習室のパソコンにSpss（分析ソフト）を入れてほしい。
- 図書館の臨床関係の雑誌を増やしてほしい。

情報科学研究科

1. 大学院の授業科目及び研究指導科目（演習、特別研究、特殊研究等）で興味深かった点、役に立った点、進路選択との関連性について書いて下さい。

- ・情報数理特論の授業で、学部3年生と一緒にプロジェクトベースの授業を受けることができることが非常に勉強になった。自分自身も授業を受講しているが、他の受講生（学部生）に指導するという指導する側の経験ができることは、非常に有益であった。
- ・ヒューマンインタフェース特論、日頃使用している機器やモノが、どのような意図で設計・デザインされているかを意識できるようになった。自身が研究開発するものに対してもデザイン面で変えていきたい。
- ・情報科学特別演習Ⅱ、1、卒業研究に関する論文、知識を紹介した。2、卒業研究に関する問題点を指摘した。3、就職活動、進路など、指導した。
- ・情報数理特論、人工現実感特論、将来的には情報に関する仕事をやりたいという考えによって、以上の科目を履修しました。
- ・生命情報学特論は大変興味深かった。自らの研究内容であったため、進路選択には役に立った。
- ・先生たちは本当に優しいし、まじめだし、熱心です。私が外国人で、日本語がまだ上手ではないですから、先生たちは、授業の時とか、普通に話す時とか、日本語でゆっくり話します。(1)

(1)項目2に書かれていたが、内容として適切な項目1へ移動した。

2. 大学院の授業科目及び研究指導科目の改善すべき点、問題点を科目名と共に書いて下さい。また、効果が薄いと思われるので、改善して欲しい取り組みなどについて、建設的な意見を書いて下さい。

- ・大学院に在籍しているが、自分の研究内容の基礎知識取得のため、他学部履修として工学部の講義を受講、単位認定していただける制度は学生便欄等にも、しっかり示すべきだと思う。

3. 教室設備、研究機器、授業環境などについて、お気づきの点があれば具体的に（号館、教室、座席等）に書いて下さい。

- 12415教室のプロジェクタが見にくいので、可能なら、他の教室と同じようにとりかえて頂くか、3階CAD実験室で使用しているビックパッドにとりかえて頂きたい。
- 空調は期間をあらかじめ決めておくのではなく、臨機応変に対応してほしい。特にPC等の多い建物なので、クーラーが付いていないと、残暑の場合は辛い。
- 研究室内のエアコン設定を各部屋ごとに、変えられるようにしてほしいです。今の集中管理では、体調が悪くなってしまいます。
- 研究を行うにあたり、長時間大学に常駐したいと思ったり、事実常駐することがあるが、その際、学部棟にシャワールームがあると、効率よく時間を使うことができるので、是非シャワールームを設置してほしい。(2)
- 1、就職活動に関する内容が少ない。2、留学に対応する進路などが少ない。(2)

(2)項目2に書かれていたが、内容として適切な項目3へ移動した。